

倫理委員会

- 開催日 : 平成26年4月7日(月)
- 出席者 : 副院長、事務部長、産婦人科部長、看護部長、管理課長
伊藤外部委員
- 検討事項 : 重症心身障害児・者における栄養評価と低カルニチン血症患者に対するカルニチン補充方法の検討
- 議論概要 : 重症児は様々な理由から栄養の摂取量が十分でないため、痩せていることが多く、それに起因して感染罹患率が増加、骨粗鬆症のさらなる低下、その他の症状の悪化などが懸念されている。現在、重症児者の生活の質、QOL改善のため、栄養管理の重要性が再認識されている。重症児者はミトコンドリアでのエネルギー産生に必要なカルニチンの欠乏をきたしやすいことが知られており、実際カルニチン補充により重症児者のカルニチン欠乏症が改善したとの報告があるが、最適なカルニチン補充量について検討はされていないため、重症児者を対象として、血清カルニチン濃度と全身状態との関係について評価し、さらにカルニチン欠乏と考えられる重症児者についてはカルニチンの補充をすることで、そのカルニチンの補充手段と補充量、および全身栄養状態の変化について関連性を評価する研究の可否。
- 決定事項 : 承認

倫理委員会

- 開催日 : 平成26年9月4日(木)
- 出席者 : 副院長、事務部長、産婦人科部長、看護部長、管理課長
伊藤外部委員、菊地外部委員
- 検討事項 : 東日本大震災後の福島県内看護師養成機関における災害看護教育の実態
- 議論概要 : 1995年の阪神淡路大震災を体験したことを契機に、大学と中心に災害救助論が展開されてきた。災害看護教育に関する研究では、大学を中心に行われてきた。その後、自然災害や人災などの多様な災害の発生に伴い「災害予防から災害直後に支援できる看護の基礎知識の理解」の必要性が高まり2009年のカリキュラム改正で看護基礎教育に総合分野の教育内容に災害看護が設定された。これにより、災害看護は大学だけでなく看護専修学校でも教授されるようになった。その2年後の2013年に東日本大震災が発生した。
東日本大震災、特に福島県では、地震、津波の自然災害に加え、原子力発電所の事故に伴う放射能汚染という将来への健康被害が懸念される災害を経験し、このような複合災害は他に類をみない。震災後3年が経過した現在、福島県内の看護基礎教育機関において、災害看護がどのように受け止められ、どのように教授されているのか、災害看護における問題をどのようにとらえているのか実態は把握されておらず、複合災害を経験した福島県内の災害看護教育に対する実態を把握し、問題を共有することで今後の災害看護教育への新たな知見が得られるための研究の可否。
- 決定事項 : 承認

倫理委員会

- 開催日 : 平成26年9月4日(木)
- 出席者 : 副院長、事務部長、産婦人科部長、看護部長、管理課長
伊藤外部委員、菊地外部委員
- 検討事項 : 看護学生の個人情報を意識した実習記録管理に関する認識
- 議論概要 : 平成15年に個人情報法が制定され、本校では看護学生の実習記録は個人情報として取扱、実習中は学生が自宅に持ち帰り管理しているが、実習終了後は学校で保管し、各学年の年度末に実習記録は焼却している。しかし、学生の実習記録は、実習終了後も学生自身が保管し、必要な時に見て学習に役立ててほしいと考えており、また、学生から「折角頑張っても焼却される」という意見や「自由に見たい」という意見があることから、当校では、実習記録を実習終了後に学生へ返却し、個人で管理する方向性としており、学生の実習記録の管理及び個人情報保護に対する認識を調査する研究の可否。
- 決定事項 : 承認

倫理委員会

- 開催日 : 平成27年3月27日(金)
- 出席者 : 事務部長、産婦人科部長、看護部長、
伊藤外部委員
- 検討事項 : miRNA アレイ解析を用いた新生児低酸素性虚血脳症の新規バイオマーカーの探索
- 議論概要 : 新生児低酸素性虚血脳症は、軽症、中等症、重症に分類されますが、重症化に関わる因子、その詳細な理由や機序などは明らかにされていないため、新生児低酸素性虚血脳症に罹患した群と罹患していない群での血中miRNAの発現に差があるかどうかを検討するため、血液や尿などから取り出したRNAを用いる調査研究の可否。
- 決定事項 : 承認